

第8回 JABA 関東選手権大会

2018年関東選抜リーグ戦決勝トーナメント準決勝

先発三宮投手(2年目)7回・抑え上田投手(2回)が東芝打線を抑える活躍

都市対抗野球 40 回出場・優勝 7 回 日本選手権 27 回出場・優勝 2 回の社会人野球強豪のチーム東芝と闘う明治安田生命は今燃えているチーム。過去東芝戦は相性の良い戦いをしている。

三宮投手は初回先頭打者にセンタ前に運ばれ 2 死 2 塁から 5 番打者にセンタへタイムリー先取点を許す。2 回以降 7 回まで被安打 2 本好投する。8 回から上田投手が登板、先頭打者・次打者に連打され 1 失点するも後続を断ち 9 回三者凡退で試合を締めくくった。

なお、5 回 2 死から連続四球でピンチを迎えるが捕手尾嶋選手リードが大きかった 1 塁ランナーを牽制で刺すプレーはこの試合の鍵だった好プレーでした。

攻撃陣は 1 点先行されるも 2 死走者なしから 3 番宮川選手敵失で出塁後、盗塁成功 2 死 2 塁から 4 番大野選手のライト前タイムリーで振り出しの同点打。2 回 2 死走者なし 8 番吉田選手ライト線二塁打で出塁するも後続続かず。3 回 1 死後後 2 番大東レフトへクリーンヒット 3 番宮川選手四球 4 番大野選手の内野ゴロで 2 死 3・1 塁のチャンスに 5 番道端選手左中間タイムリーで 2 点目を得る。5 回 2 死走者なしから 4 番大野選手幸運な内野安打で出塁、5 番道端選手四球、2 死 2・1 塁、6 番佐藤選手 7 番竹内選手の連続タイムリーで 2 点追加。以後たびたびチャンスを作るも後続断たれるも、試合は打撃陣の効率の良い攻撃で 4 点勝ち取り、4 対 2 で古豪東芝を打破決勝へと駒を進めた。若い投手陣が良く踏ん張った勝利と言える。

関東選抜リーグ戦決勝トーナメント決勝進出は初めての快挙。

四死球	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
安打	2	0	0	0	0	2	0	2	0	6
東芝	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
明治安田生命	1	0	1	0	2	0	0	0	X	4
四死球	0	0	1	1	1	1	0	0		4
安打	1	1	2	0	3	1	2	0		10

2018年10月17日
土田唯雄

勝利のスコアボード





先発 7回 好投の三宮投手



好リリフー 上田投手



1回裏同点打の大野選手



5回ダメ押し打の 佐藤選手